

中部システムサポート株式会社

看護小規模多機能型居宅介護

ナーシングケアハウスやえしま

令和3年度 第4回地域密着型サービス運営推進会議

日時:令和3年11月26日(金)

場所:看護小規模多機能型居宅介護ナーシングケアハウスやえしま

司会:荒川 裕紀子

(議題)

- ①利用者・入所者サービス提供の状況(9月～10月)
- ②行事实施状況
- ③職員研修、勉強会の報告
- ④事故・ヒヤリハット報告
- ⑤苦情報告
- ⑥前回第3回運営推進会議ご意見
- ⑦その他

次回の令和4年度 第5回運営推進会議は

令和3年1月28日(金)14:00～15:00 予定です。

①利用者・入所者サービス提供の状況(9月～10月)

9月 登録人数 22人(男性 13人・女性 9人) 平均介護度 3

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3人	6人	2人	5人	6人

10月 登録人数 22人(男性 13人・女性 9人) 平均介護度 4

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3人	5人	2人	5人	7人

<新規・終了・相談>

	新規	終了	相談
令和3年9月	0人	1人	4件
令和3年10月	1人	0人	6件

*11月 新規利用者 2名 (看取り1件)

②行事实施状況 コロナウィルス感染症を考慮し事業所内での活動実施

・カナリアクラブ

毎週火・金曜日 :中部地区医師会訪問看護ステーション作業療法士派遣

個別の作業 集団リハビリテーション 等

・9/16(木)敬老会

・10/13(水)音楽会

③職員研修・勉強会

(内部研修)

・9/15(水)高齢者虐待、身体拘束について

研修内容

①高齢者虐待について、虐待の基礎知識、発生時の対応について

②身体拘束マニュアル・緊急時やむお得不い身体拘束に関する場
対応について

・10/20(水)感染対策の基本を学ぶ

外部講師:ユニ・チャーム 中尾 氏

① 感染症対策の基本 清潔・不潔の取り扱い

② 排泄介助時の注意点・工夫など 物品の取り扱い

(外部研修)

- ・在宅介護医療連携（荒川参加）
入退院支援・連携について
- ・接遇研修（医師会研修）
- ・新型コロナ感染症対策・情報交換会

④事故・ヒヤリハット報告

(9月)

・事故報告 1件

(事故内容) 脱衣時の気管カニューレ付属部の破損

(対策) ・気管カニューレ挿入、カニューレの仕組みを知り、脱衣時の注意事項の確認徹底

・介助時の看護師・介護士声掛け連携

・カニューレ破損・カニューレ抜去時の緊急対応方法の再確認

主治医との連携・看護師を中心に緊急対応シュミレーション確認

人工呼吸器の取り扱いについて学ぶ

・ヒヤリハット 2件

(内容)①トイレ後の入口ドアを開閉時、前屈になり車椅子後輪が浮き転落しそうになった

③ ベット移乗後のベット柵取付忘れ

(対策)①移乗の際、ほぼ自立利用者様でも、トイレ誘導前後は声掛け確認。場を離れる場合は他スタッフとの連携を図る

②退室時は確実にベット柵設置。各部屋へチェック表貼付。周知・徹底

(10月)

・事故報告 0件

・ヒヤリハット 6件

(内容)①ベット柵取り付け忘れ②車いす座位時の体幹バランス崩れ

③レク中車椅子バランス崩れ④下車時の膝折れによるバランス崩れ

(対策)①退室時の環境調整の再々確認も徹底

②長時間の座位時、適宜体位調整、除圧行う

③利用者様がレク活動を楽しめるよう職員配置・レク環境を整える

④ADL 状況に応じ移乗方法の検討。介助方法の確認

*ヒヤリハット・事故報告を受けて今後の対策・対応について適宜話し合う。

⑤苦情報告 1 件

利用者様より ・事業所内での報告・連絡が徹底されていない

・通い・宿泊時の連絡ノートへのケア記録記載について

(対策) ・職員間の報告・連絡・相談を徹底していく。

・通い・宿泊時の様子やケア内容等、ノート記載を心掛ける

⑥ 前回(第 3 回推進会議)ご意見等

・特になし

⑦その他(報告)

・併設 訪問看護ステーションやえしま

* 併設、訪問看護ステーションやえしま利用者様 5件

コロナ感染症自宅療養者 4件

・ぐしかわ看護学生実習受入れ 6 名

(実習目的)

訪問看護ステーション及び居宅支援事業所の役割・機能を理解し在宅療養者のもつ療養上の課題を知り、療養者及び家族がもつ QOL 向上へ向けて看護者の果たす役割について学ぶ。

・管理栄養士(毎週金曜日来訪)

栄養便り発行・栄養相談・栄養マネジメントにおける他職種カンファ・計画立案

以上

